



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 株式会社 フェイス

上場取引所 東

コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平澤 創

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者

(氏名) 佐伯 浩二

TEL 075-213-3933

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,831	62.5	746	105.1	790	111.3	436	235.9
23年3月期第1四半期	17,122	29.4	363	△14.5	374	△9.2	129	238.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 541百万円 (273.5%) 23年3月期第1四半期 144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	380.20	377.53
23年3月期第1四半期	113.20	110.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,848	14,997	36.9
23年3月期	32,726	14,544	39.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,235百万円 23年3月期 12,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,700	△22.0	930	△8.5	960	△11.3	5,970	953.6	5,200.12
通期	33,560	△60.1	1,150	△46.0	1,280	△42.2	6,300	433.1	5,487.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,196,000 株	23年3月期	1,196,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	47,950 株	23年3月期	47,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,148,050 株	23年3月期1Q	1,148,050 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年6月、国内の携帯・スマートフォンの契約件数は1億2,000万件を超え、成熟期を迎えております。当第1四半期連結累計期間においては、平成20年には出荷台数が21万台に過ぎなかったスマートフォンが、平成23年4月に販売数で携帯を上回り、平成25年には、携帯・ノートパソコンを含めたモバイル端末市場において、スマートフォンが市場のほぼ半数を占めるようになると予想されております。携帯やノートパソコンに替わる、スマートフォンやメディアタブレット等の新たな端末の急速な浸透にともない、ユーザーのサービスに対するニーズは多様化を続けております。一方、コンテンツ市場においても、様々なモバイル端末の特性を活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やソーシャルゲーム、動画共有サイト等、情報端末や流通手段の多様化にともない、ユーザーニーズの多様化・複雑化がさらに加速しており、新たなコンテンツ流通のしくみの創出が求められております。

このような環境下において、当社グループは、優良なコンテンツを創出し、コンテンツやユーザーの特性に最適な「コンテンツ流通のしくみ」を迅速に構築・提供すべく、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略（様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造）』のもと事業を進めております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、電子マネー事業の成長等により、前年同期比62.5%増の27,831百万円となりました。また、営業利益は前年同期比105.1%増の746百万円、経常利益は前年同期比111.3%増の790百万円となり、四半期純利益は前年同期比235.9%増の436百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <コンテンツ事業>

「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に努めました。

携帯端末上で音楽と写真を合成し、簡単にフォトムービーが作成できるサービス『ピク☆mix』をベースに、株式会社サンリオおよび株式会社サンリオエンターテイメントと連携し、キャラクターとユーザーの写真・動画とを合成することで、オリジナルビデオレターが作成できる「キティちゃんのお祝いビデオレター」のサービスを開始いたしました。

また、ユーザー同士が検索ワードによって紐付けられ、リアルタイムで検索ワードに関するコミュニケーションを行うことができる全く新しいコミュニケーションサービス『CHACHER（チャチャー）』を開始いたしました。

一方、日本初の音楽データの商業配信や、世界初の着信メロディの配信など、創業以来、当社が得意とし、実績をあげてきた音楽を軸にしたコンテンツ流通のしくみ創りに注力することを目的に、当社の連結子会社である株式会社ウェブマネーの株式について、KDDI株式会社が実施した公開買付けに応募し、当社が保有する同社の全株式26,899株を8,795百万円で、平成23年7月19日に売却いたしました。今後、課金決済について、当社は、サービスの内容やユーザーの特性にあわせ、現金、クレジット、電子マネー、プリペイド、携帯払いなどから、適宜、最適な決済方法を採用することで、当社グループの強みである機動的かつ迅速なサービス構築を進めてまいります。

株式売却によって得た資金を、コンテンツビジネスへの先行投資やM&Aをはじめとする様々な施策等に、戦略的に活用することで、当社グループの中核事業であるコンテンツの開発、配信事業に経営資源を集中してまいります。これにより、多様化・複雑化が加速するユーザーニーズに対し、新たなコンテンツ流通のしくみを創出・提供してまいります。

新たな試みとして、将来有望なアーティスト、クリエイターに飛躍の場を提供し、音楽、ファッション、アート、映画、映像等を世界中に多言語でライブ配信することが可能なショールーム「Future SEVEN」を、当社東京オフィスの1階に開設いたします。当社グループの総力を結集し、ユーザー、アーティストを中心とする新たなコンテンツ流通のしくみを創出する「360°戦略」を実践してまいります。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は、着信メロディ事業の減収等により、前年同期比12.5%減の1,632百万円となり、営業利益はコスト削減等が寄与し前年同期比113.0%増の253百万円となりました。

#### <電子マネー事業>

電子マネー事業の主力であるオンラインゲーム市場は拡大を続け、電子マネー「WebMoney」の決済額は、順調に推移いたしました。

以上の結果、電子マネー事業の売上高は、決済額の伸長等により前年同期比71.4%増の25,717百万円となり、営業利益は前年同期比80.1%増の430百万円となりました。

#### <その他>

その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は前年同期比91.2%増の481百万円となり、営業利益は前年同期比1,293.4%増の60百万円となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3,121百万円増加し、35,848百万円となりました。のれん償却額の計上によるのれんの減少があったものの、主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,669百万円増加し、20,851百万円となりました。法人税等の納付により未払法人税等の減少があったものの、主として支払手形及び買掛金、利用原価引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて452百万円増加し、14,997百万円となりました。これは、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上および少数株主持分が増加したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は2.5ポイント減少して、36.9%となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、最近の業績動向等を踏まえて平成23年5月11日に公表した当初予想を本日修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正および特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

#### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### (4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,001,893	12,770,476
受取手形及び売掛金	8,356,029	9,742,998
有価証券	339,676	1,337,674
商品及び製品	3,110	3,716
仕掛品	1,038	1,038
原材料及び貯蔵品	8,892	9,568
繰延税金資産	344,125	344,125
その他	368,465	420,511
貸倒引当金	△49,258	△49,620
流動資産合計	21,373,972	24,580,490
固定資産		
有形固定資産	2,893,215	3,000,509
無形固定資産		
のれん	435,363	254,463
その他	371,487	377,827
無形固定資産合計	806,851	632,291
投資その他の資産		
投資有価証券	7,405,341	7,397,549
その他	396,115	354,699
貸倒引当金	△148,792	△117,183
投資その他の資産合計	7,652,664	7,635,065
固定資産合計	11,352,731	11,267,865
資産合計	32,726,703	35,848,355
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,948,110	12,534,195
短期借入金	399,984	399,984
未払法人税等	390,631	242,758
利用原価引当金	4,835,100	5,240,273
ポイント引当金	230,979	224,203
賞与引当金	77,608	59,585
その他	882,358	829,844
流動負債合計	16,764,771	19,530,845
固定負債		
長期借入金	1,133,368	1,033,372
繰延税金負債	183,204	182,528
退職給付引当金	91,824	98,825
その他	8,909	5,544
固定負債合計	1,417,306	1,320,270
負債合計	18,182,078	20,851,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	6,556,212	6,935,294
自己株式	△651,377	△651,377
株主資本合計	12,831,189	13,210,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,011	267,040
為替換算調整勘定	△201,693	△241,787
その他の包括利益累計額合計	66,317	25,253
少数株主持分	1,647,118	1,761,715
純資産合計	14,544,625	14,997,240
負債純資産合計	32,726,703	35,848,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	17,122,285	27,831,290
売上原価	14,686,420	24,781,762
売上総利益	2,435,864	3,049,528
販売費及び一般管理費	2,072,108	2,303,345
営業利益	363,756	746,182
営業外収益		
受取利息	2,081	1,913
受取配当金	2,784	3,392
有価証券利息	11,333	10,594
持分法による投資利益	40,152	35,877
雑収入	3,800	975
営業外収益合計	60,152	52,754
営業外費用		
支払利息	11,192	4,410
為替差損	36,585	4,206
雑支出	2,094	—
営業外費用合計	49,872	8,617
経常利益	374,036	790,319
特別利益		
固定資産売却益	1,061	—
投資有価証券売却益	—	27,995
貸倒引当金戻入額	1,305	—
特別利益合計	2,367	27,995
特別損失		
固定資産処分損	38	375
投資有価証券評価損	5,106	—
持分変動損失	11,537	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,253	—
特別損失合計	33,935	375
税金等調整前四半期純利益	342,468	817,939
法人税等	131,678	235,555
少数株主損益調整前四半期純利益	210,789	582,383
少数株主利益	80,829	145,899
四半期純利益	129,959	436,484



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	210,789	582,383
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△63,850	△988
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,004	△40,075
その他の包括利益合計	△65,854	△41,064
四半期包括利益	144,934	541,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,104	395,419
少数株主に係る四半期包括利益	80,829	145,899

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,866,100	15,004,291	16,870,391	251,893	17,122,285	—	17,122,285
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	74,429	1,000	75,429	—	75,429	△75,429	—
計	1,940,529	15,005,291	16,945,820	251,893	17,197,714	△75,429	17,122,285
セグメント利益	119,248	239,165	358,414	4,350	362,765	991	363,756

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額991千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,632,350	25,717,225	27,349,576	481,714	27,831,290	—	27,831,290
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	50,962	400	51,362	—	51,362	△51,362	—
計	1,683,313	25,717,625	27,400,938	481,714	27,882,652	△51,362	27,831,290
セグメント利益	253,976	430,774	684,750	60,627	745,377	805	746,182

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額805千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

重要な子会社等の株式の売却

1. その旨および理由

当社は、平成23年6月10日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ウェブマネーの株式について、KDDI株式会社が実施する公開買付けに対して、保有する全ての株式(26,899株)を応募する旨の応募契約を締結することを決議しておりました。

当該公開買付けの成立には買付予定株数の下限(40,068株)が設けられておりましたが、買付予定数の下限を上回ったため、当該公開買付けが成立いたしましたので、平成23年7月19日をもって保有する全ての株式(26,899株)を売却いたしました。

当該公開買付けへの応募によって得られた資金により、財務体質の改善を行うとともに、コンテンツビジネスへの先行投資やM&Aをはじめとする様々な施策を実施する等、戦略的に活用することで、当社グループの中核事業であるコンテンツの開発、配信事業に経営資源を集中し、従来の主要音楽コンテンツメディアであったCD・DVD等に加え、ライブ・配信・ソーシャルメディア等を複合し、アーティストとのダイレクトな接点を世界中の音楽ファンに提供するような「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」をさらに推し進めるため、同社株式を売却いたしました。

2. 売却する相手会社の名称

KDDI株式会社

3. 売却の時期

平成23年7月19日

4. 当該子会社等の名称、事業内容および会社との取引内容

① 名称	株式会社ウェブマネー
② 事業の内容	電子マネーWebMoneyの発行・販売 WebMoneyを利用した電子決済サービスの提供
③ 当社との取引内容	電子決済サービス機能の提供

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益および売却後の持分比率

① 売却株式数	26,899株
② 売却価額	8,795百万円
③ 売却益	6,892百万円
④ 売却後の持分比率	—%